

会 議 録

会議名 (審議会等名)		第 2 0 回さがみはら森林ビジョン審議会				
事務局 (担当課)		環境経済局経済部津久井地域経済課 電話 0 4 2 - 7 8 0 - 1 4 0 1 (直通)				
開催日時		令和元年 1 1 月 8 日 (金) 午前 1 0 時 ~ 1 1 時 4 5 分				
開催場所		緑区合同庁舎 3 階 会議室 3 - 2 A , B				
出席者	委員	6 人 (別紙のとおり)				
	その他	0 人				
	事務局	6 人 (経済部長、津久井地域経済課長、津久井地域経済課 4 人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0 人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 開会 2 あいさつ 3 議事 (1) 平成 3 0 年さがみはら森林ビジョン実施計画の進行管理について (2) その他 4 その他 5 閉会				

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(は委員の発言、 は事務局の発言)

1 開会

事務局（津久井地域経済課）から開会宣言が行われ、会議の成立について報告するとともに、議事録の公開について説明し、了承を得た。

2 あいさつ

事務局の進行により、経済部長からあいさつを行った。

3 議事

審議に先立ち、会長から事務局に傍聴希望者の有無が確認され、傍聴希望者がなかったため、会長の進行により審議が開始された。

(1) 平成30年度さがみはら森林ビジョン実施計画事業の進行管理について

進行管理シート（資料1から資料3）について、順次、審議会としての評価並びに意見の整理を行った。

はじめに資料1に基づき、森林ビジョン実施計画の重点事業のうち毎年度目標を設定して取り組む「重点事項：その1」の6事業について審議会からの意見及び評価についての確認を行い、目標達成に至らなかった3事業をB評価としたほか3事業はA評価と確定された。

次に資料2に基づき、重点事項のうち、取組報告を行う事業である「重点事項：その2」の6事業に関する審議会からの意見について確認を行った。

続いて資料3に基づき、「重点事項以外」の38事業について意見の有無の確認を行った。

【「重点事項：その1」に係る審議会からの意見、質疑応答などの概要】

事業コード5-1-1 地域水源林整備事業

私有林整備については、森林所有者からの整備要望がなく整備が進まないとのことだが、対象地域の財産区において整備の実施に向け、財産区や県、市の担当と調整を行っているため、来年度以降、実績が増える可能性がある。

引き続き整備の調整を進めていただきたい。

評価、意見は原案のままでよい。

【「重点事項：その2」に係る審議会からの意見、質疑応答などの概要】

事業コード4-1-1 津久井産材利用拡大協議会の設置・運営支援

協議会の会長、副会長の任期が満了しており、今年度実施した協議会では構

成員から森林組合組合長に会長職に就任願いたいとの意向が示された。事務局を含む体制については、新たな会長と相談を行い、協議会に諮っていく。

森林ビジョンを推進する上で協議会は重要な役割を担うため、引き続きよい形になるように努めてもらいたい。持続可能な協議会運営のためには将来的に会費制を導入することも重要である。

事業コード 4-1-2 公共建築物等への利用促進

津久井産材製品フォトギャラリーやカタログに掲載している製品の問い合わせがあるが、写真が最新のものでないため適宜更新してもらいたい。

現在、写真の入れ替え作業を実施しているため、順次対応したい。

事業コード 4-1-4 木材の多様な利用のための技術・商品開発の促進

「低質材の活用先がないという課題が生じた際」と評価にあるが、既にその課題に直面している。現状、低質材は大月バイオマス発電所か秦野の林業センターへ持ち込んでいるが、採算がとれない状況。

低質材が供給過多の状況となっている。津久井貯木場が開設されて1年経つが面積の拡張の要望が生じるなど、課題が生じている。

審議会からの意見を「低質材の活用先がないという課題が見込まれるため」と変更する。

意見欄の変更を行う。

【「重点事項以外の取組」に係る審議会からの意見、質疑応答などの概要】

事業コード 2-3-1 津久井産天板交換等委託事業

事業の補足として、伐採届提出の際に広葉樹の提供の協力を呼びかけるチラシを作成し、配付するなどPRを行っている。

天板の材料となる広葉樹は曲がりのない部分を使用するため確保は引き続き課題となる。針葉樹の活用も視野に入れている。引き続き、市の協力を得たい。

森林環境譲与税を活用し、広葉樹林や0.1ha以下の針葉樹林を対象とする森林整備を検討している。広葉樹林の活用など、相模原市ならではの整備の指針・考え方を整理していきたい。

事業コード 3-2-2 都市と自然を生かした新しいツーリズムの推進

里地里山体験ツアーは津久井地域全体に広がってきている。事業としても利益を出しており順調である。

事業コード 3-2-2 地域と人つなぐルートづくり

市及び市観光協会では八王子市と連携した事業を毎年実施しており、来年度はロードレースの実施を検討している。

重点事項以外の取組全体に対する意見

今後の進行管理では、事務局で特に戦略的に取り組んでいるものを示してもらえるとよい。また、連携している団体が偏っていると感じるため、例えば学生と連携するなど、取組が広がられるとよい。

来年度以降の進行管理については別途検討して行きたい。

台風19号により森林にも被害が出ているが来年度の進行管理への影響は。

現在も被害状況の調査を行っており、被害全体の把握はまだできていないが、事業の進捗に大きく影響すると思われる。

(2) その他

ア 台風による被害状況について

事務局から、資料4に基づき説明を行った。

県内では特に箱根町と相模原市で被害が大きく、間伐材の搬出に影響が出る可能性がある。

森林組合所管の林道も被害が多数確認されている。木材の搬出は目標を下回ることが想定される。現在、県に林道の補修を要望している状況。

引き続き、復旧に向けて取り組まれない。

イ さがみはら森林ビジョン後期実施計画の策定状況について

事務局から、資料5に基づき説明を行った。

台風被害について森林への影響が大きい計画への反映は。

表現について検討し、反映する。次回の審議会でパブリックコメントの結果とともに示したい。

4 その他

次回日程については、2月4日(火)の午後とした。

5 閉会

さがみはら森林ビジョン審議会 出欠席名簿

(5 0 音順)

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	北村 美仁	一般社団法人 相模原市観光協会 専務理事		出席
2	齊藤 理沙	公募委員		出席
3	佐藤 治男	津久井郡森林組合 代表理事組合長	副会長	出席
4	杉本 貴広	有限会社 杉本林業 取締役		出席
5	土屋 俊幸	東京農工大学 大学院 農学研究院 教授	会 長	出席
6	淵上 美紀子	一般社団法人 さがみ湖 森・モノづくり研究所 代表理事		出席